

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第53号
事故等種類	衝突
発生日時	平成26年7月25日 06時50分ごろ
発生場所	岩手県洋野町 ^{しほくのへ} 宿戸漁港 洋野町所在の八木港北港第1防波堤灯台から真方位331° 1.46海里付近 (概位 北緯40° 22.2′ 東経141° 45.2′)
事故等調査の経過	平成26年7月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 ^{りょうしょう} 漁正丸、2.3トン IT3-44958（漁船登録番号）、個人所有 B 漁船 ^{たいせい} 大成丸、1.7トン IT3-49939（漁船登録番号）、種市南漁業協同組合 C 漁船 ^{こばやし} 小林丸、0.7トン IT3-48986（漁船登録番号）、種市南漁業協同組合 D 漁船 ^{ちゅうえい} 忠栄丸、0.7トン IT3-27998（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	C 船長C、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	A なし B なし C 軽傷 1人（乗組員C） D なし
損傷	A 右舷中央部ガンネルに亀裂 B 右舷中央部ハンドレールが曲損等 C 船首部の防舷材が破損 D 右舷船尾部に亀裂
事故等の経過	C船は、船長C及び乗組員Cが乗り組み、船長Cが船尾の操船位置に就き、宿戸漁港の防波堤付近で船首を港口の北北西方に向け、船外機を中立状態として漂泊し、A船、B船及びD船を含む僚船十数隻と共にうに漁に出漁する順番を待っていた。 船長Cは、C船をゆっくりと前進させようとしたところ、防波堤から海中に伸びたワイヤロープが船外機の下端部に引っ掛かって前進できなかったので、後方を向き、船外機を中立状態としてチルトアップし、ワイヤロープを外して船外機を戻したとき、身体の一部が船外機のシフトレバーに当たって前進に入り、C船が前進を始めた。

	<p>船長Cは、C船が前進を始めたことに驚き、船外機の回転数を下げようと思い、後方を向いた状態でふだんと逆の手でスロットルを操作したところ、回転数が上昇する方向にスロットルを操作し、平成26年7月25日06時50分ごろ、増速したC船が、付近で漂泊するなどして待機中のD船、B船及びA船と続けて衝突し、C船の船首部に立っていた乗組員Cが転倒して負傷した。</p> <p>A船、B船、C船及びD船は、いずれも航行に支障がなかったので、出漁し、操業を終えた後に損傷状況等の確認を行った。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期</p>
その他の事項	<p>宿戸漁港を基地とするうに漁の漁船は、出漁前、漁港内に集まって漁業協同組合による説明を受け、出漁の合図があれば、港口から近い順に出港することとなっており、本事故時、数隻が出港し、A船、B船及びD船を含む他の漁船は、それぞれが船首を港口に向けるなどの操船を行っていた。</p> <p>C船の船外機には、非常停止ボタンがあったが、船長Cは、C船が前進を始めた際、同ボタンを使用することに思い至らなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A なし、B なし、C あり、D なし</p> <p>A なし、B なし、C あり、D なし</p> <p>A なし、B なし、C なし、D なし</p> <p>C船は、宿戸漁港の防波堤付近で漂泊中、防波堤から海中に伸びたワイヤロープが船外機の下端部に引っ掛かって前進できなかったため、船長Cが、中立状態とした船外機をチルトアップしてワイヤロープを外し、船外機を戻したときに身体の一部が船外機のシフトレバーに当たって前進を始めた際、スロットルを回転数が上昇する方向に操作したことから、同漁港内で待機中のD船、B船及びA船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、C船が、宿戸漁港の防波堤付近で漂泊中、防波堤から海中に伸びたワイヤロープが船外機の下端部に引っ掛かって前進できなかったため、船長Cが、中立状態とした船外機をチルトアップしてワイヤロープを外し、船外機を戻したときに身体の一部が船外機のシフトレバーに当たって前進を始めた際、スロットルを回転数が上昇する方向に操作したため、同漁港内で待機中のD船、B船及びA船と衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船外機をチルトアップ又はチルトダウンするときは、船外機を停止させてから行うこと。